

# 年齢と共に重症の割合が増加する

患者さんの重症度の内訳を全体で見ると、ヤール1～2度の軽症で約2割、3度の中等症で4割、4度～5度の重症で4割となっており3度以上の中等症以上の患者さんで8割が占められている。またパーキンソン病は完治する病気ではなく、年齢と共に進行していくので4度～5度の重症の患者さんの割合が40才代～60才代では約3割であるのに対して、70才代では46%、80才以上では60%と大きく増加している。

<患者さんの重症度：ヤール重症度分類 (n=392)>

